

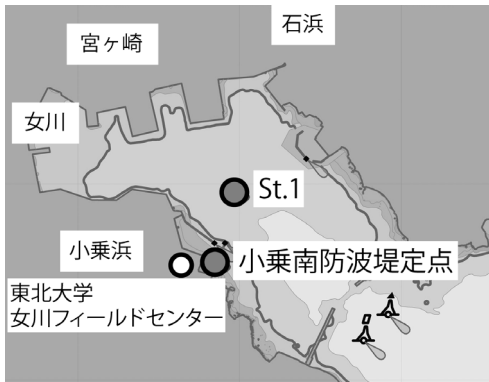
週刊 女川湾海況速報 (No.33)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

3 月 4 日から 3 月 8 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：水温は先週と比較しても経時的にも上昇傾向にあり、全層で 7℃台を示した。塩分は先週と比較して表層 (0m) で下降したが、底層 (6m) では同程度の値 (33.7~33.9 パーミル) を維持。水温上昇は主に気温上昇の影響と推定。また、底層の海水は外洋水と推定。

水深 [m]	3月4日 (月)	3月5日 (火)	3月6日 (水)	3月7日 (木)	3月8日 (金)
0	7.3 (33.3)	7.3 (29.6)	7.5 (34.0)	7.4 (33.6)	7.8 (34.0)
6	7.2 (33.9)	7.5 (33.9)	7.4 (33.9)	7.3 (33.7)	7.7 (33.9)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル (千分率)。1 パーミル = 1PSU (実用塩分単位)。

*4日と6日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して表層で下降したが、底層では同程度の値を維持。経時的には6日に底層で高い値 (1.2FTU)。(単位はFTU)

水深 [m]	3月4日 (月)	3月5日 (火)	3月6日 (水)	3月7日 (木)	3月8日 (金)
0	0.7	0.6	0.5	0.8	0.5
6	0.8	0.8	1.2	0.9	0.9

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、10~11mg/l 台を示した。経時的には全層で上昇傾向にあり、鉛直的には8日を除いて水深とともに減少傾向。

水深 [m]	3月4日 (月)	3月5日 (火)	3月6日 (水)	3月7日 (木)	3月8日 (金)
0	10.6	10.9	11.0	10.9	11.0
6	10.5	10.2	10.9	10.8	11.1

単位は mg/l。水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値) : 4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温は 7.3~7.4℃の範囲にあり、塩分は 33.9 パーミルであった。水温と塩分はともに鉛直的にほぼ一定。濁度は 0.8~2.0FTU の範囲にあり、底層 (20m) で最大。溶存酸素は 10.4~11.0mg/l の範囲にあり、底層で最小。

3月6日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.4	33.9	0.9	11.0
5	7.3	33.9	0.8	10.9
10	7.3	33.9	0.9	10.7
15	7.3	33.9	0.9	10.6
19	7.4	33.9	2.0	10.4

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marine@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。